

2 年人文社会科学科「企業訪問研修」実施

令和 8 年 7 月 23 日（木）、2 年人文社会科学科生徒が、企業訪問研修を行いました。この研修は、富山型キャリア教育充実事業「社会へ羽ばたく『17 歳の挑戦』－富山の企業魅力体験バスツアー－」の一環として実施しました。

午前中に株式会社スギノマシン（滑川市）を、午後から B B S ジャパン株式会社（高岡市）を訪問しました。ともに、富山県に拠点を置きグローバル展開している製造業系の企業です。グローバル展開するにあたって意識していることやグローバル人材の要件（資質や能力等）、特に企業のなかでの文系人材の役割などについて、お話をうかがいました。

株式会社スギノマシンは、超高压水を活用した「ウォータージェット」技術を核とする「超技術」を有し、「地域に立脚しながら、世界で戦う」という「グローバルニッチリーダー」を体現している企業です。グローバル人材の育成にも積極的で、海外拠点に 3 ヶ月間社員を派遣する研修も取り入れているとのことでした。

現在、株式会社スギノマシンには、高岡高校出身の先輩が 3 人勤務していて、そのうち、営業企画部（デザイングループ）で活躍している宮本さんから、直接、この会社を選んだ理由や勤務内容、仕事のやりがいなどについてお話を伺いました。

その後、工場内を見学させていただいたり、ウォータージェットカッターで段ボールを切る体験をさせていただいたりしました。



B B S ジャパン株式会社は、自動車向け鍛造アルミホイールを製造・販売している企業で、世界で初めてマグネシウム鍛造ホイールの実用化に成功するなどニッチな分野で高い技術力を持っています。自動車レースのフォーミュラ 1（F1）などに出場するほとんどの車が BBS ジャパンのホイールを使用しています。すべての製品を高岡で製作し、海外の多くの取引先に輸出。「From Takaoka For the World（高岡から世界へ）」をスローガンに、50 年以上、常に前進している企業です。

新田社長から熱いメッセージをいただいた後、二班に分かれて、工場見学と質問タイムを実施しました。こちらの人事部にも本校卒業生の中尾さんが勤務していて、工場見学や製品の説明をしてくれました。



どちらの企業にも、大変丁寧に対応していただき、とても充実した研修をすることができました。

<学んだこと・感想等>

○グローバルリーダーとは

- ・自分の会社や地域の強みを正しく理解し、日本や世界に発信していける存在
- ・地域に根付きつつ、世界も視野に入れ、地域、世界両方で自分の立ち位置を理解している人
- ・地元と海外を繋ぐ役割を担い、必要とされ続ける人
- ・仲間と得意分野を生かし合いながら組織を率い、独自の強みで世界に影響を与える人

○企業のなかでの文系人材の役割

- ・人事や営業など、企業の製品を製造する理系の人たちの仕事を広め、その製品を売るのに重要な役割を果たしていて、企業は理系の技術職だけでは成り立たないのだと感じました。
- ・ものづくり企業であっても、経営やデザイン、イベント企画など幅広い分野で活躍の場が与えられているのだと知りました。
- ・文系人材は営業部門でよく活躍し、世界展開する企業では英語力がとても役立つと学びました。
- ・営業や製品のアイデアなど、理系にしかできないだろうと思うことも文理問わずやっていると学びました。

○感想等

- ・富山県に住んでいるのにこんなに素晴らしい技術をもった会社があることを知らなかったことが恥ずかしいです。どちらの企業もニッチな業界のトップに君臨しており、業績もあり、地元富山で成功していると感じました。
- ・今までは企業に対して解像度が低く、学部の選択がどれほど就職に影響するかなどがわかっていなかったけれど、今回の見学を通して、大学での学びの活かされ方や、自分がどのような企業で働きたいかなど、進路に対して考えを深めることができました。
- ・富山県内ではあるが、グローバルに活躍する方々を自らの目で見ることができて、これからの学習や課外活動への励みになりました。